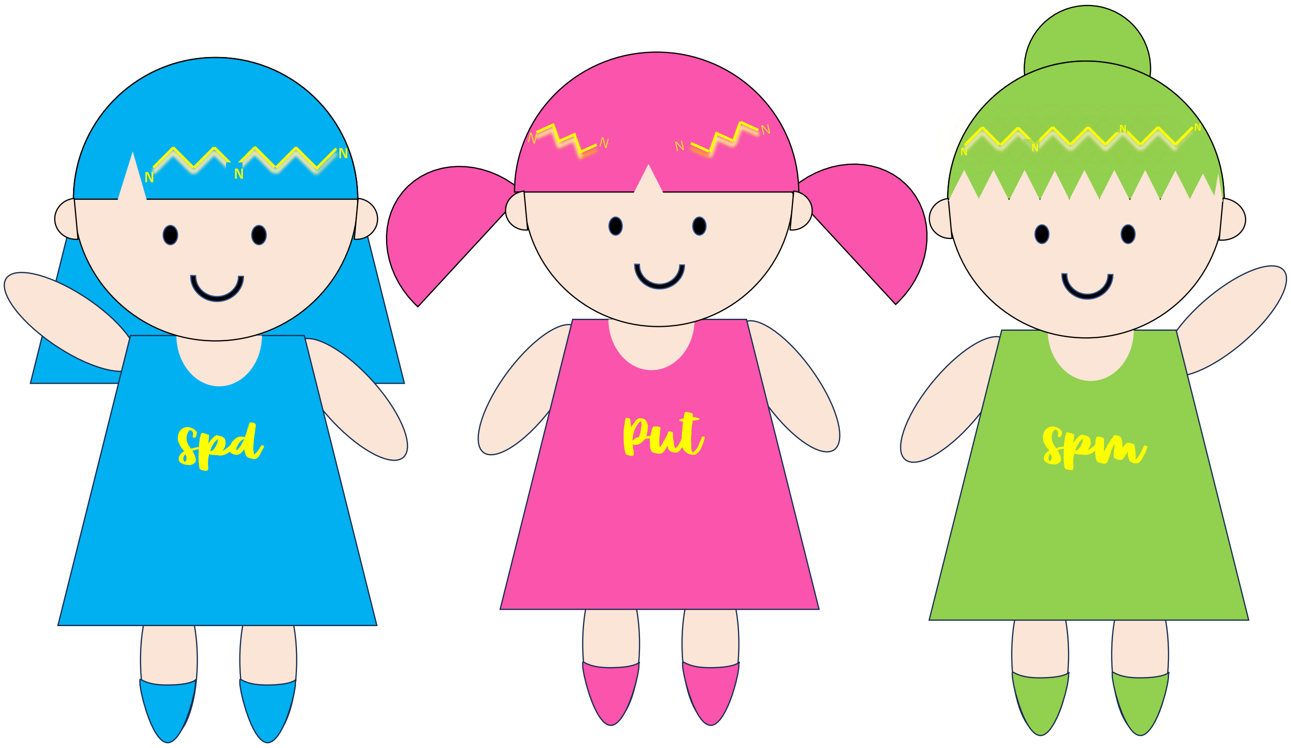
東京慈恵会医学大学　学外共同研究助成

ポリアミンと核酸の共進化

第 20 回　合同シンポジウム



日時：2023 年 9 月 9 日（土）　13:00～17:30

(12:30~受付開始)

場所：東京慈恵会医科大学　西新橋校　F 棟3階　臨床講堂

東京都港区西新橋 3-25-8　電話　03-3433-1111（内線 2276）

開会の挨拶

松藤　千弥　（慈恵医大）　　　　　　　　　　(13:00～13:05)

シンポジウム

【発表 15分 質疑応答 5分】

Session 1　(13:05～14:45)

座長：小竹 到矢（東京海洋大院）

1. GC-rich sequence DNA-binding factor 2 (GCFC2)の機能解析

〇三輪 有由奈[1], 朝倉 希里生[2], 山本 真太郎[1], 鈴木 雅斗[1], 米野 雅大[3], 五十嵐 一衛[2、4], 戸井田 敏彦[2], 東 恭平[3]
([1]東京理大院薬, [2]千葉大院薬, [3]東京理科薬, [4]アミンファーマ研)

2. 腸内細菌代謝物を中心とした腸管免疫を介するアルツハイマー病の制御

〇数藤俊輔[1], 井澤浩大[2], 坂本泰一[1, 2], 南澤麿優覧[2, 3]
([1]千葉工大先進工学部生命科学科, [2]千葉工大大学院先進工学研究科生命科学専攻, [3]千葉工大教育センター)

3. ヒトアルツハイマー病モデルマウスの L-Arginine と Limonoids での治療におけるポリアミン代謝プロファイル

〇赤城紫音[1], 坂本泰一[1], 南澤麿優覧[1, 2]
([1]千葉工大 大学院, [2]千葉工大 教育センター)

4. 金盞花のポリアミン産生量と機能性評価

〇伊藤聖菜[1], 黒﨑直子[1], 南澤麿優覧[1, 2]
([1]千葉工大先進工学部生命科学科, [2]千葉工大 教育センター)

5. 質量分析イメージング法を用いた発酵食品中のポリアミンと関連代謝物の局在可視化

〇生田宗一郎[1], 藤原伸介[1]
([1].関西学院大・生命環境)

Coffee break (14:45～15:00)

Session 2　(15:00～16:40)

座長：生田 宗一郎（関西学院大）

6. 黄麹菌におけるアルギニン脱炭酸酵素遺伝子（adc1）によるアグマチン合成機構

〇村上優衣[1]，赤坂直紀[3]，福田青郎[1,2]，丸山 潤一[4,5]，藤原伸介[1,2]

（[1]関西学院大院・理工学研究科，[2]関西学院大・理工学部，[3]京都大学・循環型バイオ事業開発研究部門，[4]東大院・農生科・応生工，[5]東大 微生物連携機構）

7. 超好熱菌 Pyrobaculum calidifontis におけるノルスペルミン生合成経路

〇前川和葉[1]，福田青郎[1]，生田宗一郎[2]，跡見晴幸[3]，藤原伸介[1,2]

（[1]関西学院大学院・理工，[2]関西学院大・生命環境，[3]京都大・工学）

8. 超好熱菌 Thermococcus kodakarensis の生育時期依存的な細胞内ポリアミンの変動と染色体 DNA 構造への影響

〇青木陽茉璃[1]，　生田宗一郎[1,2]，　藤原伸介[1,2]

（[1]関西学院大学院・理工，[2]関西学院大・生命環境）

9. ポリアミンが Drosophila melanogaster の生育段階・活動量に及ぼす影響の解析

〇藤田剛士[1],下川ひろみ[1],堀亜紀[2]，門口響[2]，倉石貴透[2]，栗原新[1]

（[1]近畿大 生物理工　[2]金沢大 医薬保健）

10. 高度好熱菌 Thermus thermophilus の長鎖ポリアミンの生成条件

〇小竹到矢[1]，岡井公彦[1]，森屋利幸[2]，大島泰郎[2]，石田真巳[1]

（[1]東京海洋大院・海洋資源環境学専攻 [2]共和化工・環境微生物学研）

Coffee break　(16:40～17:00)

教育講演　(17:00～17:30)

「ポリアミン研究を通して学んだこと」

―留学・国際学会での発表―

田島彩沙

慈恵医大・分子生物学